

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

「未来を拓く」朝日西の子の育成を目指す。

校訓

- ◎ 思いやりのある子 (徳)
- ◎ 進んで勉強する子 (知)
- ◎ たくましく生きる子 (体)



目指す児童像

- 思いやる心・共に生きる態度のそなわった子 (豊かな心)
- 他者と協働し、目標に向かって主体的に課題を解決する子 (確かな学力)
- 運動に親しみ、健康で安全に生きる子 (健やかな体)

(2) 経営方針

ひとりひとりが主人公 輝け！笑顔の朝西っ子

「認め合い」「学び合い」「高め合い」を意識した教育活動を推進し、子供も職員も自己肯定感・有用感をもち、生き生きと過ごすことで、信頼される学校を目指す。

- ア 基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせるとともに、言語に関する能力を高め、思考力・判断力・表現力および、主体的に学習に取り組む態度の育成に努める。
- イ 基本的な生活習慣やあいさつ習慣、規律を身に付けさせるとともに、道徳の時間、人権教育やさまざまな体験活動を通して、豊かな心の育成に努める。
- ウ 食育、健康安全教育や防災教育を通して、運動に親しみ健康で安全な生活を送るための基礎を培う。
- エ 国際理解教育、環境教育を通して、地域や我が国、諸外国の伝統や文化を理解・尊重したり、よりよい環境作りに主体的に取り組んだりする力を育成する。図書館教育や情報教育、新聞活用、一人一台端末等のICT活用を通して、豊かな情操の育成を図るとともに、情報モラルを身に付けさせ、情報活用の力を育成する。またキャリア教育を推進し、自己のよりよい生き方を探究する活動を通して、自己実現及び自己有用感の育成を図る。
- オ 幼保小中連携の深化と学校外への情報発信や地域人材の活用を積極的に進めることにより、地域や社会と目標を共有しながら、教育活動の充実を図る。
- カ いじめや問題行動の早期発見解決に努め、危機管理意識の向上や体制の充実に努めるとともに、危険を予知し事故を未然に防ぎ生命を大切にす態度と能力の育成に努める。

(3) 本年度の重点努力目標

① 思いやる心・共に生きる態度のそなわった子を育むために

- ア 特別支援教育への理解啓発、縦割り班活動による異学年交流、行事と関連させた事前事後の道徳の時間の充実を図り、思いやりの心・共生の心を育む。
- イ ソーシャルスキルトレーニングやピア・サポートを計画的に実施し、共感的な人間関係の構築と自尊感情の育成を図る。
- ウ QUを全学年で実施し、支援が必要な児童を把握し、適切な支援を行う。

② 他者と協働し、目標に向かって主体的に課題を解決する子を育むために

- ア 「朝西っ子 きらきら5か条」をもとに学習規律の習慣化を図る。
- イ 読書活動や新聞活用を積極的に取り入れ、語彙力及び文法力の向上に努める。
- ウ 学習過程において「探究的なプロセス」を位置づけ、思考力・判断力・表現力を高め、授業の終末の振り返りでは、学びを言語化し、思考の質を高める。
- エ ICT や生成 AI を「探究を支える基盤」として活用し、情報を分析・整理・発信するスキルを体系的に育成する。

③ 運動に親しみ、健康で安全に生きる子を育むために

- ア 外遊びの推奨や体育の授業の工夫を通じ、運動に親しむ習慣を身に付けさせ、体力の向上を図る。
- イ 養護教諭による保健指導や栄養職員と連携した学級指導を行い、健康で安全な生活を送るための正しい知識と習慣を培う。

④ 信頼される学校づくりのために

- ア 学校公開やウェブサイト等を活用して学校の様子を伝えるなど、積極的な情報発信に努めることにより、学校の教育活動の可視化を図る。
- イ 小学校の出入り口をスムーズにするために近隣園や中学校との連携を深める。
- ウ 地域人材や校務 DX を取り入れ、多忙化解消に向けての業務改善を図る。